

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月18日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00731.html

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

会見・報道・お知らせ

>

大臣記者会見等

>

関芳弘 文部科学大臣の会見

> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月18日）

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月18日）

令和8年9月18日(金曜日)

教育、科学技術・学術、スポーツ、文化、その他

キーワード

文部科学大臣就任、愛知・名古屋アジア競技大会の開幕、文部科学行政の課題および特に注力していきたい政策、子供の学びにおける情報技術の活用に関する見解および全てがデジタルの教科書に関する見解、旧統一教会との関係性および宗教行政への関わり方、学校教育の意義とこれまでに印象に残っている教師とのエピソードおよび教職の魅力向上に向けた今後の取組と教職員へのメッセージ、原子力分野やフュージョンエネルギーに関する研究開発の推進への意気込み、奨学金の返済負担増加を踏まえた今後の若者への支援方針、内閣改造に当たって実施されたアンケートへの回答内容および任命に関しての自己分析、同志社国際高校への「政治的中立性」違反とする判断の見解と偏った平和教育の是正に向けた取組方針、政治資金の収支報告書への不記載に関する説明と文部科学大臣に求められる資質、「科学の再興」に向けた今後の取組方針および力を入れて取り組みたい科学技術政策の分野

関芳弘文部科学大臣記者会見映像版

令和8年9月18日（金曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。

令和8年9月18日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）

関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版

後日、アップロードします。

ページの先頭に戻る

お問合せ先

大臣官房政策課広報室

（大臣官房政策課広報室）

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年9月18日） YouTube 字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00731.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00731.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=ugGUObo-yvw>

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-09-24T09:35:59.509478+00:00

[00:00:01] え、新しく文部科学大臣になりました関義
[00:00:04] 吉博でございます。え、皆様どうぞ
[00:00:06] よろしく願いいたします。
[00:00:09] え、まずあの初めに、え、文部科学省があ
[00:00:14] 、担います教育科学技術、学術、スポーツ
[00:00:19] 文化。あ、これは、ま、人の可能性を
[00:00:23] 引き出して我が国の未来を切り開いて
[00:00:26] まいります。重要な分野であります。え、
[00:00:29] それぞれの分野で挑戦をしまして活躍され
[00:00:33] ます現場の皆様方をの声を聞きながら、
[00:00:37] 未来への投資を行う文部科学行政を
[00:00:40] しっかりと前に進めてまいりたいと考えて
[00:00:42] おります。どうぞよろしくお願いいたし
[00:00:45] ます。
[00:00:47] え、合わせまして私から1件ご報告を
[00:00:50] 申し上げたいと思います。え、明日から
[00:00:53] アジア最大の総合スポーツ大会でござい
[00:00:57] ます名古屋アジア競技大会が開幕をいたし
[00:01:03] ます。え、これまで大会の準備に携まって
[00:01:07] 来られました大会組織委員会を始め、え、
[00:01:10] 関係者の皆様方に心から感謝を申し上げ
[00:01:14] たいと思います。
[00:01:16] え、日本では1994年に広島で開催され
[00:01:21] て以来、え、32年ぶりえ、3度目の開催
[00:01:25] となります。アジア
[00:01:29] パラ協議大会の開催は、え、国際や、え、
[00:01:33] スポーツの進行、え、強制社会の実現等に
[00:01:37] 大きく起用をするものでございまして、え

[00:01:41]、また安心、安全、安心な大会運営を実現
[00:01:46] することで、え、日本の
[00:01:49] 信頼とプレゼンスを一層高めてくれるその
[00:01:52] ような意義があると認識をいたしており
[00:01:54] ます。開催されます大会の開閉会につき
[00:01:59] ましては私が政府を代表して、え、出席
[00:02:03] する予定でございます。え、日本からも
[00:02:06] 多くの選手が出場予定でございまして、え
[00:02:10] 、努力の成果を存分に発揮していただく
[00:02:13] ことを期待を
[00:02:21] それではまず議者T例をさせていただき
[00:02:24] ます。はい。
[00:02:25] 大臣、改めましてご紹介をます。
[00:02:27] はい、よろしくお願いします。
[00:02:29] 大臣はこれまで経済産業分野だったり環境分野でのご経験が豊富だと存じてますけれども、で教育行政ですとか学校現場との接点はあまりないように気をます。ま、そうした中で現在の文部科学行政をとりますと最大の課題というのは何だという風に認識していらっしゃる？
[00:02:49] はい。
[00:02:49] なんだという風に認識していらっしゃるということと合わせて、え、大臣として最も注力をされたい政策についても教えてください。
[00:02:58] はい。ま、あの、世界の中で本当に、あの、世界の競争は非常に激しい状況になってきてると思いますが、この文部科学行政いますのは我が国のあの未来を切り開いてく重要なあの分野であると思っております。
[00:03:16] あの、取り組んでいくべき、え、項目って
[00:03:19] いうのはもう本当に非常に多くあると思う
[00:03:21] ております。ま、資源が我が国は限られて
[00:03:24] おりますので、人材こそがもう1番大事な
[00:03:28] 、あ、その資源になるものであると思う
[00:03:31] ております。あらゆるあの分野におけます
[00:03:35] 人材力、え、この向上は、ま、喫金の課題
[00:03:39] そのように、え、考えております。また
[00:03:41] 政府が今掲げております。戦略17分野進
[00:03:46] 。え、これにつきましては私があ、自民党
[00:03:49] の科学技術イノベーション戦略庁の副会長
[00:03:54] や、ま、反動体戦略推進議員連盟を設立し
[00:03:58] まして事務局長として立ってまいりました
[00:04:02] 。その中でも研究力がどうしても、ま、は
[00:04:05] 不可欠な要素であると強く認識をいたして
[00:04:08] おりまして、その抜本的強化に取り組んで
[00:04:12] いきたいと思ってるところでございます。
[00:04:14] また、あの、教育、科学技術、学術、
[00:04:18] スポーツ文化、え、この分野はそれぞれ
[00:04:21] 現場がございます。
[00:04:23] え、まずは現場の状況に目を通した上で、え、関係の皆様のお声もしっかりと聞きながら必要な政策を進めてまいりたいと考えてるところでございます。はい、以上です。はい。
[00:04:38] はい。それでは、え、各者さんをお願いいたします。
[00:04:44] えっと、はい、どうぞ。
[00:04:51] NHK
[00:04:52] の渡辺と申します。よろしくお願いいたします。
[00:04:54] よろしくお願いします。
[00:04:55] え、教育の分野中のAI
[00:04:57] やデジタルの活についてお伺いしていきます。え、成
[00:05:01] SNS

[00:05:02] が、ま、社会に浸透し、新しい学習指導では小中学校の教育内容に

[00:05:07] AI

[00:05:08] の活用を初めて盛り込むなど、え、情報教育を大幅に拡充する方針がまとめられています。

[00:05:14] 一方世界ではAIやSNSの活用について

[00:05:18] 規制に踏み切る国も出てきていますが、

[00:05:21] 日本の子供たちの学びにおいて情報技術と

[00:05:23] の向き合い方やその活用をどうしていくか

[00:05:27] 人のお考えを教えてください。合わせて

[00:05:29] 導入に向けて議論が進むデジタル教科書に

[00:05:32] ついても、え、全大臣は小学校、低学年と

[00:05:35] 国防社会、同徳においては、え、デジタル

[00:05:37] 、完全デジタル教科書を認めるべきでは

[00:05:40] ないとの方針とお示してましたが、こう

[00:05:42] いったことを踏まえてデジタル教科書に

[00:05:44] ついての大臣のお考え合わせて伺いし

[00:05:47] たいです。お願いします。はい。はい。

[00:05:49] ありがとうございます。まず、あの、生成

[00:05:51] AI等のデジタル技術でございますが、

[00:05:55] あの児童の生徒、お1人お1人のニーズや

[00:05:59] 、ま、特性にあいました学びの支援に、は

[00:06:03] 、非常に価値があると考えておりますが、

[00:06:06] その一方で、え、活用の仕方によりまして

[00:06:09] は、ま、必要な学習家程が、ま、省略され

[00:06:12] てしまうなどのリスクがあるということも

[00:06:16] 認識をいたしております。適切な利活用の

[00:06:21] ためにはあのメディアリテラシーや情報

[00:06:24] モラルを含めました情報活用能力の育成を

[00:06:29] 図りますとともに、え、安全かつ主体的に

[00:06:32] AIを活用できます学習環境を構築して

[00:06:36] いくことが必要という考え方のも検討が

[00:06:41] 進められていると承知しているところで

[00:06:43] ございます。またデジタルな形態を含む

[00:06:47] 新たな教科書のあり方につきましてはこれ

[00:06:51] までの神を中心といたしました学習環境を

[00:06:54] 基本といたしますしつつ教科書にスマート

[00:06:57] にデジタルを取り取り入れていくことが

[00:07:01] 重要だと考えております。

[00:07:04] この点につきましては、あ、現在秋頃まで

[00:07:07] の大臣の取りまとめを目指しておりまして

[00:07:10] 、え、有識者の会議で検討をいただいてる

[00:07:14] ところと認識をしております。まずはその

[00:07:16] 議論を中視をしてまいりたいと考えており

[00:07:19] ます。え、私といたしましては、あ、子供

[00:07:23] たち1人1人がAI等の技術やデジタルな

[00:07:27] 形態を含みます教科書を適切に、え、活用

[00:07:31] することで、あ、1人1人の学びを充実さ

[00:07:34] せて着実にあの、学力をがしっかりと向上

[00:07:39] していくことにつなげてまいりたい。え、

[00:07:42] そのことが重要だと考えてるところで

[00:07:44] ございます。

[00:07:45] また今後はあの全大臣からの引き継ぎなやまた様々な方からのご意見を頂戴いたしまして、え、しっかりと検討進めてまいりたい。そのように考えております。はい。はい。よろしいで

しょうか?はい。じゃあ、こちらの方どうぞ。

[00:07:58] [咳払い]

[00:08:07] 朝務の森下です。

[00:08:08] はい。どうも。

[00:08:10] えっと、何?あの、旧統一協会関係についています。

[00:08:13] はい。えっと、レジンとは自民党が2022

[00:08:16] 年9月の表した調査結果の中で、え、教団

[00:08:19] の関連団体の介護に出席されて挨拶された

[00:08:22] ということが実定されております。で、

[00:08:25] 巨南そのものは今生産手続が進める状態か

[00:08:27] あると思いますけれども、あの、ま、一部

[00:08:29] であの巨南の一部による診断設立等のごき

[00:08:33] のある中で、えっと、ま、教団と言っている

[00:08:35] 関係があったということは認定されている

[00:08:37] 方が、ま、集要請所に関する大臣に入あの

[00:08:41] 就任することに関して、ま、厚生さ、あの

[00:08:43] 、行政手続きの厚生さの観点からですね、

[00:08:46] あの、議念を、ま、余地があるとも考え

[00:08:49] られると思うんですけども、これについて

[00:08:51] 、え、どのようにお考えか教えていただけ

[00:08:53] ますでしょうかはい。え、その点に関し

[00:08:56] ましては、あ、急都統立協会との関係なん

[00:09:00] ですが、ま、自民党のあの調査におきまし

[00:09:03] て、ま、回答を申し上げてるところで

[00:09:05] ございますが、あ、現在、え、当該団体と

[00:09:08] の関係は、あ、しっかり立っておるところ

[00:09:12] でございます。旧統一協会にあの対します

[00:09:16] 解散命令につきましては本年の6月に最高

[00:09:20] 裁判所におきまして旧協会の特別広告が

[00:09:25] 帰却されたものと承知をいたしております

[00:09:28] 。え、現在生産人によります生産手続きが

[00:09:32] あ、開始がされておりますが、文部科学省

[00:09:35] といたしましては、あ、生産人の求めに

[00:09:38] 応じまして関係府省庁と協力をいたしまし

[00:09:42] て、え、最大限の対応を徹底していきたい

[00:09:46] と考えております。え、私としましては、

[00:09:50] 文部科学行政の責任者といたしまして、え

[00:09:54] 、法令に基づきました職に、え、遂行して

[00:09:58] まいりたいと考えております。

[00:10:03] はい、以上でございます。はい。はい。

[00:10:07] はい。どうぞ。

[00:10:14] え、教育新聞の、教育新聞の藤井と申します。

[00:10:18] えっと、大臣がですね、大切にされている教育は理想の教師についてお伺いできればと思います。

[00:10:26] あの、農務科学省、あの、学校教育を所管

[00:10:28] するわけですがけれども、あの、学校教育に

[00:10:31] おいて大臣が最も大切だと思う価値とは何

[00:10:35] でしょうか?え、またですね、これまで

[00:10:37] あの、大臣が会ってきた、あの、先生の

[00:10:39] とのやり取りの中で印象に残っている

[00:10:42] エピソードなどがあれば教えてください。

[00:10:44] え、合わせてですね、ま、現在中教心では

[00:10:47] 、あの、教員要請や採用の改革が進められ

[00:10:50] ておりまして、え、教育職員免許法の改正
[00:10:52] もあの、近く予定されていると思います。
[00:10:55] で、昨日、あの、松本全大臣の、え、会計
[00:10:58] の中に[咳払い]あの投資の魅力向上に
[00:11:00] 向けた法改正を視野に入れて検討している
[00:11:02] といったことをあの述べていましたけれど
[00:11:04] も、あの教師の働き方などの、え、現状
[00:11:07] 認識を踏まえつつ、え、教職そのものの
[00:11:11] 威力どう向上させていくのか、え、大臣の
[00:11:13] 考えをお聞かせてください。え、それと
[00:11:15] ですね、すいません、色々あってすいませ
[00:11:17] ん。あの、学校現場の先生方のあの、
[00:11:19] メッセージもあればあの、合わせてお願い
[00:11:21] いたします。はい。
[00:11:24] あの、学校は本当にあの重要なところだと
[00:11:27] 考えておりまして、え、教師の方々のお
[00:11:30] 仕事は本当に尊いお仕事だとまず考えて
[00:11:33] おります。まず学校、私はあの子供たち
[00:11:37] あの1人1人の発想力を豊かにしますし、
[00:11:41] またあ、可能性をですね、あの最大限に
[00:11:45] 伸ばすそのような学びを実現してくれる
[00:11:48] ところだと考えておりまして、その重要性
[00:11:51] は、あ、本当に強く私自身認識している
[00:11:55] ところでございます。私自身があの学校の
[00:12:01] 中で、ま、色々な先生方と出会いまして
[00:12:05] 色々学びをしてまいりました。ま、よく
[00:12:08] テレビなんかで見てたのは、ま、ちょっと
[00:12:09] 今の時代と違うかもしれませんが、
[00:12:12] あの、武田哲也さんの3年B組金パチ先生
[00:12:15] なんかも大ファンでよく見ておりましたし
[00:12:17] 、ああいう熱血的なあの先生にあの学雲の
[00:12:22] ことだけでなくってその人生感だとか生き
[00:12:25] 方なんかもすごくテレビを通してあのあ、
[00:12:29] 感じた記憶もございます。で、私自身、
[00:12:32] あの、それ高校生の時だったと思うんです
[00:12:34] が、あの、徳島県私生まれでございまして
[00:12:38] 、あの、常内高校というところに進んだん
[00:12:41] ですが、その時に、あの、徳島県のアナン
[00:12:44] というところで、あの、海洋訓練があり
[00:12:47] ました。で、その時にこう火薬とかこう
[00:12:51] みんなで乗ったり色々海洋のあの訓練教え
[00:12:55] てたんですけど、その時にあの学校先生が
[00:12:58] あの言ってくれたあのみんながその外で
[00:13:01] そういう風な自然の中で、え、実際のあの
[00:13:06] 海洋の訓練を切れながらあの先生の一言が
[00:13:09] すごく心に残ってるのでございまして、
[00:13:12] この今日は海で来るとみんなシューマン
[00:13:16] シップという言葉知ってるかって言って
[00:13:18] 先生が言われたんですね。で、何なんです
[00:13:20] か先生って言って聞きましたらシーマン
[00:13:23] シップっていうのは、ま、例えば木
[00:13:26] [鼻息]を成長している家庭をずっと見て
[00:13:28] も1番[咳払い]大きく気が成長する時に

[00:13:33] は他の木よりも高くなるので、おもう台風
[00:13:37] なんかが来た時には上の方の枝はボキボキ
[00:13:40] 折れてしまう。で、その代わりでも1番
[00:13:43] 高く大きくなったから太陽の光もすっごく
[00:13:47] たくさん受けれるし、強い風が吹いても
[00:13:49] 自分たちの半ばの木の風から守ってあげる
[00:13:53] こともできる。そういう風なあの人を助け
[00:13:58] たり、みんなの仲間を助けたり、そして
[00:14:00] 自分が自らしっかりとあの大きく成長して
[00:14:04] いこうという意思を持つっていうような
[00:14:06] こと。そういう風な気容例に例えてそれが
[00:14:09] シーマンシップにはすごく生かされてるん
[00:14:12] だよみたいな話を聞きました。で、その
[00:14:15] 自然の中で学んだその先生の言葉は今でも
[00:14:19] もうあれは10月もう35年40年以上前
[00:14:24] ですね。前かもでもそういう風な言葉って
[00:14:27] 一生自分の心に残って今も一生懸命こう人
[00:14:31] のために働いてえ人が喜んでくれることを
[00:14:35] こうしっかりと政治でやっていきたいって
[00:14:37] いうその自分のあの気持ちだとか夢とか
[00:14:41] 心志しの方に根本として生きてるなって
[00:14:43] いうようなことを考えました時に学校に
[00:14:46] おけます現場の教育って学問だけじゃなく
[00:14:50] ていろんなことまでそして人間形成にも
[00:14:53] つがっていくんだなということ本当に
[00:14:55] 強く感じるところでございまして、その点
[00:14:58] 先ほどお話にもございましたその先生方の
[00:15:01] お仕事に関しましては、ま、今あの中教心
[00:15:06] の方でも中央教育審議会の方でも先生を
[00:15:09] 障害に渡っても学びつけられる魅力溢れる
[00:15:12] 仕事にしようということでその議論がなさ
[00:15:15] れているとお伺いしておりますけれども
[00:15:17] 、ま、昨日の松本全大臣の会見にもござい
[00:15:21] ましたように、あ、食教職の方々のその
[00:15:25] 魅力向上に向けまして高戦も試合入れつつ
[00:15:28] 検討していくというご発言が全大臣からも
[00:15:32] あったと思いますが、そのような松本
[00:15:34] 全大臣からも引き継ぎをしっかりとさせて
[00:15:36] いただきながら、私としましても教師の
[00:15:39] 方々が働きとまた働きやすさを共に実感
[00:15:43] できます。そのようなあの環境整備を教師
[00:15:47] になったあ々関わる経済的負担の軽減等に
[00:15:52] も色々あの今後はしっかりと検討していっ
[00:15:55] ていいがああの私も先生になろうという風な
[00:16:00] あ方々がどんどん増えるような環境づくりし
[00:16:03] ていきたいなと思います。あの本当に最後
[00:16:06] になりますけど学校現場の教職員の皆様方
[00:16:09] に置かれましては日々子供たちのために力
[00:16:12] を尽くしていただいております。え、その
[00:16:14] ことに深くある経緯を承じしまして、え、
[00:16:18] その個人が日本の教育、また日本の国力、
[00:16:21] 人材力のその向上に本当にあの役に立っ
[00:16:24] てるいうことに心から感謝して経を表し

[00:16:27] てると思います。

[00:16:30] はい。よろしいでしょうか?はい。はい。

[00:16:35] はい。じゃあ今度こちら。はい。どうぞ。

[00:16:38] はい。

[00:16:44] 東京新聞の絵の元と思います。

[00:16:46] [咳払い]

[00:16:46] 冒頭ご発言にありました名古屋アジア大会館の関連あの意義についていただきます。ま、その世界少しで国地機関の争いというのが非常にあの大内中での開体となりまた大会に参加してる地域の中にもそういったことに関係してるところもあるというところがございます。

[00:17:07] そこでこの兵に向けてこの大会が貢献できることというのが何なのか、また大臣ご自身が、ま、何ができるのかお考えがあれば伺いたいと思います。

[00:17:16] はい。あの、このアジアの最大の、ま、総大会でございます。

[00:17:23] 愛知名古屋大会でございますけれども、あ

[00:17:26] 、先ほど申し上げましたようにその目指し

[00:17:28] ますところにつきましてはやはりこの

[00:17:33] 国際、え、そしてスポーツ強制社会の実現

[00:17:38] このようなあの目的が大きく抱、ま、あつ

[00:17:42] てそれが実現される大きないい機会になっ

[00:17:44] ていくと思います。それに関しまして、

[00:17:47] 我々はあの、あの開会の運営や国のことに

[00:17:53] つきましてもできる限りその精神が実現

[00:17:57] できるように実行たり、それを応援でき

[00:18:00] たらなと思う次第でございますし、私自身

[00:18:03] も強制社会の重要性は非常に強く認識し

[00:18:06] てるところでございますので、それが大会

[00:18:09] のあの開催と運営のやり方に反映できたら

[00:18:13] 本当に嬉しいことだと思います。

[00:18:17] はい、よろしいでしょうか?はい、どうぞ。

[00:18:23] え、電気新聞の山内と申します。

[00:18:26] はい。

[00:18:26] 大臣で、え、戦略

[00:18:28] 17

[00:18:28] 分野、え、水準に関わる活動をされてきたと紹介していましたが、防科省が、え、所管する原子力やフュージョンエネルギー分野制策をどのように進めていきますか?注力したい取り組みもあればお聞かせください。

[00:18:43] はい、ありがとうございます。

[00:18:45] あの、原子力やフュージョンエネルギーに

[00:18:48] つきましては、ま、本当にあの、

[00:18:50] エネルギーの安全保障、またあの地球温暖

[00:18:53] 化対策の観点からしっかり取り組んでいく

[00:18:56] ことが非常に重要だと考えております。

[00:19:00] 原子力につきましては、あ、次世代の各路

[00:19:03] の社会への実装に向けまして、今原子力

[00:19:07] 機構の機能の強化に、え、取り組んでおり

[00:19:10] ますと、え、研究開発や人材育成等の

[00:19:14] 幅広い、え、原子力回復技術に関します

[00:19:18] 取り組みを、あの、推進してまいりたいと

[00:19:20] 思っております。また、あの、フュージョ

[00:19:22] エネルギーについてでございますが、あの

[00:19:25] 、本年の7月に策定をされました、あ、神

[00:19:29] 投資ロードマップのもの、ま、イーター

[00:19:32] 計画等のあの、国家プロジェクトで誓い

[00:19:36] ました世界トップレベルの技術力を生かし

[00:19:38] まして、え、人材育成も含めつつ2030

[00:19:41] 年代にはあの、発電を実現することで、え

[00:19:47] 、競争力のありますシステムを世界に先け

[00:19:51] まして、え、確立することを目指していきたいと思っています。はい。よろしいでしょうか?はい。えっと、じゃあ今度こちらじゃ前の方から日本経済のと申します。よろしく願います。

[00:20:09] はい。ます。

[00:20:11] 大学生の小学金について伺います。

[00:20:13] はい。

[00:20:13] 昨日3

[00:20:14] 日だで生活になる学生の負担が高まっています。

[00:20:18] で、金が上昇する中、小学金の返済間も増えています。こうした中で学ぶ要容のある若者への支援にどう取り組んでいかれるか大臣考えてます。

[00:20:18] [鼻息]

[00:20:28] はい。ま、本当にあの僕は上がっていくの大変な状況になってると思います。

[00:20:34] 今般あの総理からもですね、あの意欲なり

[00:20:37] まず若者の方々の進学のあの断念や若い

[00:20:42] 世代のあの過度なあの家計の負担をこれを

[00:20:47] 生じさせないようにすることがま、非常に

[00:20:49] 重要で、え、そのためには小学金の事業の

[00:20:53] あの充実に取り組むようにあのご指持がさ

[00:20:56] れたところで出たところでございます。で

[00:21:00] 、え、昨今の、ま、金利上昇や物価上昇に

[00:21:03] よりまして、所学金のあの変換の負担や、

[00:21:07] あの、学生の生活費の負担があの増加する

[00:21:11] 中にございまして、え、意欲のあるがあの

[00:21:14] 若者たちが、ま、本当にあの経済的な理由

[00:21:17] で進学を諦めるそのようなことがないよう

[00:21:20] に、え、奨学金事業の充実に取り組んで

[00:21:23] まいりたいと考えているところでござい

[00:21:26] ます。はい。

[00:21:28] よろしいでしょうか?はい、じゃあどうぞ。ドミ新聞の安部と申します。よろしく願います。え、そ学にあたってあの自民党内であの役職希望案件のがあったというほ動もありました。で、あの大臣はあのどのように書かれたのかを教えてください。

[00:21:51] またあの今回そののにあたって高いと首相からどのようなあの物資の専門性あったり強っているものかあの評価されたと思っていらっしゃる方の点をお伺いしていきたいと思います。

[00:22:04] はい。

[00:22:05] ま、あの、当のアンケートでございますの

[00:22:08] で、ま、あの、国民の皆様方、あの、ま、

[00:22:11] お1人お1人があの、そのご自身の力を

[00:22:15] もう100%、あの、発揮できるような、

[00:22:19] あ、その中、あ、そのような世の中にし

[00:22:21] たいというのが私の元々のあの政治家に

[00:22:24] なる時の夢でございます。すごい力の

[00:22:27] ある人が半分しか力出さなかったり、

[00:22:30] そんなりすると本当にもったいないですね

[00:22:32] 。私はもう1億2000万人のあの国民の

[00:22:35] 方々が1人1人があ力が発揮できるような

[00:22:40] 社会にしてまたお1人1人がそのように

[00:22:42] 頑張ってくれるような社会ができたらなと

[00:22:45] いうのが自分のあのあの夢でもあり目標で

[00:22:49] もございます。え、そういう風なことが

[00:22:52] あの実現できるようなあの役職につけたら

[00:22:56] いいなということを書かしていただいた
[00:22:58] あのところでございます。ま、あの、人事
[00:23:01] につきましては、あの、総理の宣言事故で
[00:23:03] ございますので、ま[鼻息]、あの、
[00:23:05] 私自身に対するあの、評価のところにつき
[00:23:08] ましては、あの、差し控えたいと思うん
[00:23:10] ですけども、ただ、あの、文部科学大臣
[00:23:13] といたしましては、あの、例えば大学の
[00:23:16] 改革や、あの、高等専門学校や、あの、
[00:23:20] 専門候の教育の充実ですね、え、我が国の
[00:23:24] 未来の成長分野を担う人材を、ま、
[00:23:27] しっかりと育成していこう。え、そのよう
[00:23:29] な政策の実現が、ま、期待されて、え、
[00:23:33] そういう風な私のあの思いとかあの民間
[00:23:37] 企業で、え、経験をしてまいりました。の
[00:23:41] あの農班ですとかあ過去に、え、経済産業
[00:23:45] 省や環境省の方で副大臣を、ま、務めてき
[00:23:49] たようなところを踏まえまして、ま、科学
[00:23:52] 技術の米書の政策などにもあの関わる
[00:23:55] ところが多々ございましたので、ま、そう
[00:23:57] いうところがあのこの文務科学大臣として
[00:24:01] のあの食糧にあの果たしていくには重要だ
[00:24:05] と、ま、あの私自身は考えておりまして
[00:24:09] その胸をあのこう欠かしあの色々そういう
[00:24:12] ことをやりたいと書いてたらこのあの文部
[00:24:14] 科学大臣を任命をましてくださったとじゃ
[00:24:19] ないのかなと私はあの自分では思ってるん
[00:24:22] ですけどま総理自身がどうお考えになら
[00:24:25] れたかはちょっとよくわかりませんが
[00:24:28] しっかりとその重要分野についてあの加言
[00:24:31] でいくことは私のあの政治目標にも
[00:24:34] ぴったりと一位置しますものであのしっかり
[00:24:36] と頑張ってまいりたいと思います。はい。
[00:24:40] はい、どうぞ。はい、よろしいですか?はい、新聞ております。よろしく願います。
[00:24:49] はい。はい、よろしく願います。
[00:24:51] あの、南京市の機での同車国際高校の事故について伺います。
[00:24:57] はい。あの、松本当全の第
[00:24:59] 2
[00:24:59] 時間中にですね、あの、社国体を、ま、あの、実施して、ま、え、団安する抗行為載せる
といったようなの学習については、え、教育基本法に反して、してる自物を判しているという見解
が、ま、示めてありました。で、これはあの、選挙通、ま、協力報ができてから初めてのあの判断に
なるわけですけども、まず大前提として、え、大臣も、ま、この判断を投集する、あの、という考
えでよろしいのかということ。
[00:25:24] それから、え、ま、今現在もですね、文科
[00:25:28] 省が、あの、全国の学校に対して平和学習
[00:25:31] の、ま、あの、え、ま、政治的中立観点
[00:25:33] からの、ま、見直しや確認の追加調査を
[00:25:37] 行っていますけれども、ま、その中でも
[00:25:39] 実際こう見直しをしましたよと答えたよう
[00:25:42] な学校出てきているようです。ま、こう
[00:25:44] いったところの対応も含めて、え、一部に
[00:25:48] 変更が指摘されるような変更学習、行き
[00:25:50] 過ぎた学習があったんじゃないかという

[00:25:51] ような、あの、声も上がっていますけれど
[00:25:54] も、平和学習、ま、こういった平和学習の
[00:25:58] 是正の取り組み、あの、大臣の意気込み、
[00:26:00] ま、ま、どういった考えて進めていきたい
[00:26:03] かというのを聞かせてください。はい、
[00:26:05] ありがとうございます。まず、あの今の
[00:26:09] あのへの子におけますあの転覆のあの事故
[00:26:13] でなくなられました方に愛等ぬいをあの
[00:26:16] 表したいと思います。またあのご家族や
[00:26:19] ああ今回の事件事項に遭遇された皆様方に
[00:26:25] えからお見舞いを申し上げたいと思います
[00:26:27] 。え、その上で、ま、本年の3月に発生を
[00:26:31] いたしました同社国際高校の、ま、研修
[00:26:35] 旅行中の事故でございますね。これにつき
[00:26:37] ましてはもう部科学省といたしまして5月
[00:26:40] にあのへの異設工事に関する学習があの
[00:26:45] 政治的な活動を禁じる教育基本法に反する
[00:26:50] ものであった。え、このように、え、見解
[00:26:52] を取りまとめたと承知をしてるところで
[00:26:55] ございます。私といたしましても、あの、
[00:26:58] これまでの考え方をしっかりと、ま、
[00:27:01] 引き付いていきたいと思います。そして、
[00:27:03] ま、必要なあの対応を進めてまいりたいと
[00:27:06] 思います。で、ご指摘のあのフォローの手
[00:27:09] についてでございます。現在あのその集計
[00:27:12] をです、進めているところでございます
[00:27:14] が、あの作業がまた完了次第速やかにあの
[00:27:19] 結果をです、あの公表をしてまいりたい
[00:27:21] と考えております。また平和に、え、関し
[00:27:25] ますあの学習でございますけれども、全国
[00:27:28] の学校におきましては、あの、教育基本法
[00:27:31] 等に基づいて、え、特定の見方や、ま、
[00:27:35] 考え方に偏った取り扱いとならない形で、
[00:27:39] え、ま、実施がしていくことが、ま、もう
[00:27:42] 本当に重要だと考えておりますので、その
[00:27:44] ようなあの取り組みを私自身もしっかりと
[00:27:47] 進めてまいりたいと考えております。はい
[00:27:49] 。はい。よろしいでしょうか?はい。
[00:27:57] 内審と申します。よろしく願いいたします。
[00:28:00] はい。
[00:28:01] あの昨日のあの話をしたと思うんですけれども政治の移問題について伺えてくれたと思
います。
[00:28:10] あの、過去に大臣は自民党から処導を受け
[00:28:12] ていることと思いますが、この国民に対し
[00:28:15] てどのように説明を果たしていくご意向
[00:28:18] でしょうか?またああ、問度科学要の
[00:28:21] トップである土科学
[00:28:23] に求められるについてどのようにご認識さ
[00:28:26] れているのか教えてください。はい。ま、
[00:28:29] あの、その政治資金の収支報告書への、ま
[00:28:32] 、不記載のことでございますが、ま、当の
[00:28:35] あの当期委員会によりまして、ま、審査が
[00:28:38] 行われまして、私自身も処分を受けた

[00:28:40] ところでございます。あ、でもその際には
[00:28:42] ですね、本当に国民の皆様方に政治の復信
[00:28:45] を招いたことを申し訳なく思っております
[00:28:48] し、深く私自身もあの反省をしております
[00:28:52] 。え、そのことにつきましては、あの、ま
[00:28:55] 、衆議院の政治、え、倫理審査会で説明を
[00:28:59] 、ま、行いましたが、地元の方でも、あの
[00:29:02] 、皆様方にこう、あの、登議資料としてお
[00:29:05] 配りする資料なんかにもその事態の説明と
[00:29:09] か、あの、それに対する詫びのこととか、
[00:29:13] あの、説明させていただいたりしてまいり
[00:29:15] ましたが、ま、このことにつきましては、
[00:29:18] ま、本当に私もあの、そのようにあの、
[00:29:21] 関わってしまったことに深反省をして、え
[00:29:24] 、私の心にも一生残りますし、そのことを
[00:29:27] また自分自身を今後もずっとあの日々政治
[00:29:31] 活動を生活していく上での言戒しめとし
[00:29:34] まして心の中にしっかりと持ち続けて、え
[00:29:37] 、逆にそれがあのいいことに生かしていけ
[00:29:40] ますように、あのいい形に進んでいきます
[00:29:42] ように、え、そのような自分の戒しめとし
[00:29:44] てもずっと持っていきたいと考えており
[00:29:47] ます。

[00:29:48] そして現在はですね、あの政治資金の
[00:29:51] ルールにとって、ま、適切に、え、その
[00:29:55] 政治資験を取り扱いを行ってるところで
[00:29:57] ございますが、あの、文部科学大臣とし
[00:30:00] ましてもですね、え、さらに、え、
[00:30:02] ますます

[00:30:03] 1つ1つのあの、あの、課題に誠に
[00:30:07] 向き合ってまいりまして、え、職務に全力
[00:30:09] で、あ、王職務をマッパ全力でマッパして
[00:30:12] まいりたい。え、そのように考えてる
[00:30:14] ところでございます。はい。

[00:30:19] の関連でTDS

[00:30:20] テレビの確、ま、大臣がこれから引きて行かれる文科書っていうのは
[00:30:26] 例えば学校で子供たちにルールの守り方を教えたりですとか、ま、東北意識について教え
る東教との言いば総山のようなものだと思ふんですけども、ま、先の選挙などですね、として国民
の信頼は得はいるものもの、やはり文科行政を司るトップとしてこうふさしいという風に考
[00:30:49] ま、そこのあのところの任命のところにつきましてはまた総理にあのぞー任させていただ
いてるところでございますが、ま、やはり私が思いますのは、あ、そういう風なあの反省も含めまし
て、え、正しく生きていくことの大切だです。

[00:31:06] ですとか、それを身を持ってあの学生の人
[00:31:10] たちにあの先生方がまた教えていける
[00:31:14] ようなあの無行政にも生かしていければ
[00:31:17] など思っているところでございます。で、
[00:31:19] またあのこ色々なあの人生長い間こう生き
[00:31:24] ていく際にですね、先ほど申し上げました
[00:31:28] ようなあのあの武田哲也さんがされたあの
[00:31:32] あの3年の金パ先生のようにいろんなこと
[00:31:35] またあの教えられることが生活の中で
[00:31:39] いっぱいあると思いますしやっぱり生活し
[00:31:42] ていく上で毎日毎日反省とそれとまたそれ

[00:31:45] を生かしての今後への自らの向上とそそう
[00:31:49] いうところを身を持ってあの経験したもの
[00:31:51] としましてもそういうことがまたこういう
[00:31:54] 風な教育の現場の方でも生かしていった
[00:31:57] 一步でも昨日よりは今日協量いいような
[00:32:00] 社会作りに生かしていけるようなあの社会
[00:32:04] とその教育行政ができていけたらなその
[00:32:07] ことに生かしていけたらなとあ反省も含め
[00:32:09] まして思ってるところでございます。
[00:32:17] にいかがでしょうか?ございませんか?はい、どうぞ。
[00:32:26] と申します。よろしくお願いいたします。
[00:32:27] はい。
[00:32:28] えっとですね、あの
[00:32:30] あ、どこすいません。どこの科学新聞のはい。すいません。はい。
[00:32:35] 科学の科学というものの最高についてどのように科学政策をお勧めして進めていかれたい
と思われてるのかお願いいたします。
[00:32:44] あともう1
[00:32:44] つはどの分野に注目されたいとお考えかお願いいたします。
[00:32:49] はい。あのまずその科学技術科学のあの最高ですね。科学技術イノベーションというのは
本当に国力のあの厳選であると考えております。
[00:33:01] あの、日本の科学をですね、あの、再行し
[00:33:04] ていきまして、え、この基礎研究や学術
[00:33:09] 研究の国際的な優意性を、ま、取り戻して
[00:33:13] いこう。[鼻息]え、このことはもう本当
[00:33:15] に重要な項目だと考えてるところでござい
[00:33:17] ます。第7期の科学技術イノベーション
[00:33:21] 基本計画等を踏まえまして、え、1つには
[00:33:25] 家費の大幅拡充によります新たな、え、
[00:33:29] 研究の領域の想像をしたいと思っており
[00:33:32] ます。で、さらに2つ目には優れた若手
[00:33:36] 研究者の海外派遣ご支援等を通じました
[00:33:41] 国際頭脳循環の強化を図ってまいりたいと
[00:33:45] 考えております。で、3つにはですね、
[00:33:48] Alforscienceということで、
[00:33:51] え、この科学研究の確信を図ってまいり
[00:33:55] たいと考えております。4つには、あ、
[00:33:58] 産業競争力強化にもあの光景をいたします
[00:34:01] 新たな、あ、研究大学群の形成と、え、
[00:34:06] これをあの進めてまいりたいと思ってる
[00:34:08] ところでございます。またあのAI良子
[00:34:12] 反動体フュージョエネルギーをはめと
[00:34:14] いたします。日本の成長戦略の戦略の17
[00:34:18] 分野。これを中心としました研究開発を
[00:34:21] ですね、あの推進をいたしまして国力の
[00:34:25] 基盤となります人材の育成やあ、成長分野
[00:34:29] を牽引する科学技術力の強化これに
[00:34:32] 取り組んでまいりたいと考えております。
[00:34:35] 農務科学大臣といたしましてですね、この
[00:34:37] 科学技術の
[00:34:40] 政策の推進に向けまして、またこれはあの
[00:34:44] 他の省庁とも連携が大事になると
[00:34:46] 思いますので、その連携をしっかりと取り
[00:34:49] ながら、あ、全力で取り組んでまいりたい

[00:34:51] と思います。はい。

[00:34:55] はい。他の方よどうしょうかよ

[00:35:00] ですか?内容でしたら

[00:35:04] 終了したいです。

[00:35:05] はい。はい。どうもありがとうございました。またどうぞよろしくお願いいたします。